

日本発育発達学会 会員各位

平素より本学会の活動にご理解とご協力を頂き、感謝申し上げます。

この度、日本発育発達学会第 19 回大会を 2021 年 3 月 13 日(土)、14 日(日)の両日、中京大学名古屋キャンパスで開催する運びとなりました。

コロナ禍で社会は騒然とし、人間社会はこれまでとは異なる生活様式が求められています。このコロナ禍の下、会員の皆様におかれましてはお元気で過ごしのこととは拝察いたします。

この騒然とした雰囲気の中「進化するヒト」を大会テーマに掲げ、今大会を開催することには格別の思いがあります。かつて、ペスト(黒死病)が流行り、100 年前にはスペイン風邪が流行りました。21 世紀に入った近年でもウイルスによる疫病に人類は悩まされています。しかし、かつてそうであったように、人類はウイルスと共生し、生き延びていくものと確信しています。とはいえ、生き延びた社会は、それまで通りではないでしょう。

本大会の信念として、人類はまだまだ進歩する、との明るい未来を想定して「進化するヒト」を大会テーマといたしました。具体的なテーマではありませんが、このテーマでシンポジウムを開催する予定ではあります。こうした信念を持って、本大会が会員皆様のご協力を得て成功裏に終わることを祈念いたしております。

なお、発表方法につきましては例年とは異なります。決められた時間内で発表をするという伝統的学会大会発表の姿で開催いたします。発表形式は、学会優秀研究賞応募発表(発表 10 分、質疑応答 5 分を予定)、一般発表(3 分の口頭発表とポスターにて質疑応答)とさせていただきます。

是非、多くの皆様にご参加いただき、参会者の学術交流や親睦を図る役割を果たすよう、心より願っております。なお、第 19 回大会に関する内容については、学会大会 web site (<https://www.hatsuhatsu.com/congress/19/>) に随時更新していきますのでご覧下さい。

なお、ポスターには梅村学園名誉総長;松阪大学名誉学長;中京大学名誉教授梅村清明氏の「雪中の梅花」をあしらい、本大会に花を添えております。このポスターを配布、貼付していただければ望外の幸せです。

日本発育発達学会第 19 回大会長

北川 薫

(梅村学園学事顧問、中京大学名誉教授)